

# 古代天皇たちの真実

「紀年復元法」で浮かび上がる「日本古代史」の新たな地平

伊藤雅文(著) ワニブックスPLUS新書  
令和6年8月22日発行 定価 1,000円+税

現在の日本古代史における最大の問題は、『日本書紀』の紀年が復元されていないことです。とりわけ5世紀以前については、専門の先生方おのおのの年代観に基づいた考察が展開されています。古代史ファンにとっては、非常に不明瞭でストレスの溜まる状況と言ってよいでしょう。

それを同じ土俵での論争とするためには、紀年の復元が必須です。多くの人々が受容できる古代史の編年表を作ることが喫緊の課題と

いえるのです。

本書は、令和の時代に紀年論が再燃することを願って上梓しました。従来にない新しい紀年復元法を提示します。

その復元過程で、「継体天皇朝と仁賢・武烈天皇朝の並立」が発覚します。それにより、従来の紀年復元の定点と考えられている「允恭天皇崩御453年・安康天皇即位454年」が誤りであることが明らかになります。

本書が、静まりかえった紀年論の沼に一石を投じることになれば、この上ない喜びです。

